

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 3 区分
 【発行日】令和 3 年 7 月 29 日 (2021.7.29)

【公表番号】特表 2020-527469 (P2020-527469A)
 【公表日】令和 2 年 9 月 10 日 (2020.9.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-037
 【出願番号】特願 2020-501297 (P2020-501297)
 【国際特許分類】

B 2 5 B 25/00 (2006.01)

H 0 1 R 43/042 (2006.01)

【F I】

B 2 5 B 25/00 D

H 0 1 R 43/042

【手続補正書】
 【提出日】令和 3 年 6 月 11 日 (2021.6.11)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

手工具 (1) であって、

互いに対して枢動可能に配置された第 1 ハンドル (2) 及び第 2 ハンドル (3) と、
 前記第 1 ハンドル (2) に固定され、第 1 圧着部 (6) を備える第 1 ジョー (4) と

、

第 2 圧着部 (7) を備える第 2 ジョー (5) と、を備え、

前記第 1 及び第 2 圧着部 (6、7) は、前記第 1 及び第 2 ハンドル (2、3) の作動により互いに向かって移動し、前記第 1 と第 2 圧着部 (6、7) の間に形成される圧着開口部 (8) を閉じるように配置され、前記第 2 ジョー (5) は、第 1 枢動点 (10) の周りで前記第 1 ハンドル (2) に対して、及び前記第 2 ハンドル (3) の上端に配置された第 2 枢動点 (11) の周りの前記第 2 ハンドル (3) に対して枢動可能に配置され、前記第 2 枢動点 (11) は前記第 1 枢動点 (10) から分離されている、手工具 (1) において

、

前記第 1 ハンドル (2) は、前記第 1 圧着部 (6) と前記第 1 枢動点 (10) の間に第 1 弾性部 (12) を備え、前記第 1 圧着部 (6) が前記第 1 枢動点 (10) に関して撓むことを許容し、第 1 ハンドル (2) は、第 1 フォークアーム (14) 及び第 2 フォークアーム (15) を備えるフォークアーム装置を有し、前記第 1 枢動点 (10) より下の点から上向きに互いに分離され、前記第 1 フォークアーム (14) は前記第 1 圧着部 (6) を備え、前記第 2 フォークアーム (15) は前記第 1 枢動点 (10) を囲み、リンクアーム (9) は前記第 1 ハンドル (2) と前記第 2 ハンドル (3) の間に配置される、ことを特徴とする手工具 (1)。

【請求項 2】

前記第 2 ジョー (5) は曲がった形状を有し、前記第 2 圧着部 (7) は、前記第 1 枢動点 (10) と前記第 2 枢動点 (11) との間の想像線に対して前記第 2 枢動点 (11) から実質的に直交して延びる、請求項 1 に記載の手工具 (1)。

【請求項 3】

前記リンクアーム (9) の第 1 端は、前記第 1 ハンドル (2) の下部の第 1 リンク点 (

16) に枢動可能に配置され、前記リンクアーム(9)の第2端は、前記第2ハンドル(3)の上部において第2リンク点(17)に枢動可能に配置される、請求項1又は2に記載の手工具(1)。

【請求項4】

前記リンクアーム(9)は弾性である、請求項1～3の何れか一項に記載の手工具(1)。

【請求項5】

第2弾性部(13)は、前記第1ハンドル(2)上において第1弾性部(12)と前記第1リンク点(16)との間に前記第1ハンドル(2)に沿って配置される、請求項3に記載の手工具(1)。